

## 第61回試験研究成果発表会動画配信プログラム

千葉県農林水産技術会議畜産部会主催の試験研究成果発表会で発表した課題について、令和6年2月22日から同3月25日まで、「千葉県公式セミナーチャンネル」にて動画配信を行います（養豚の部の中央家畜保健衛生所の演題を除く）。どなたでも視聴が可能ですのでぜひご覧ください。

また、資料をご希望の方は畜産総合研究センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

日時：令和6年2月22日（木）10時～令和6年3月25日（月）17時

方法：You Tube「千葉県公式セミナーチャンネル」にて動画で配信

酪農・肉牛部門 <https://youtu.be/8jAwZ9YvCq0>

養豚部門 <https://youtu.be/bppvIVe8HC8?si=o9GmsFsVxlfKXAcJ>

養鶏部門 [https://youtu.be/r8\\_OJh51bPE?si=ZthyC7yRLbNUk9cu](https://youtu.be/r8_OJh51bPE?si=ZthyC7yRLbNUk9cu)



### 【お問い合わせ先】

千葉県畜産総合研究センター 電話：043-445-4511 FAX：043-445-5447

千葉県農林水産部畜産課 電話：043-223-2939 FAX：043-222-3098

動画配信の情報等については畜産総合研究センターホームページ

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-chikusan/>) をご覧ください。

## 動画配信の内容

### <酪農・肉牛部門>

#### ◆ 哺育管理の違いが黒毛和種子牛の発育に及ぼす影響の解明

畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 三根 琴美

人工哺育において哺乳期間を3週間短縮し哺乳量を1.2倍にした結果、離乳時の増体低下があったが、対照区とほぼ同等の増体を示した。離乳方法の改善で更なる発育が見込める。

#### ◆ホルスタイン種未経産牛における効果的なショートシンクの検討

畜産総合研究センター 市原乳牛研究所 久保田 尚

ホルスタイン種未経産牛において、最大卵胞が10mm以上且つ2番目に大きい卵胞が8mm以上の個体にショートシンクを処置すると良好な繁殖成績が得られた。

#### ◆気候変動に対応した冬作飼料作物の安定的な栽培技術

畜産総合研究センター 企画環境研究室 鈴木 一好

本県で奨励していた冬作飼料作物の播種期について、イタリアンライグラスで11月上旬まで、年内刈りエンバクで9月中旬まで延長が可能である。

## ◆気候変動に対応したトウモロコシ（単播）の安定的な栽培技術

畜産総合研究センター 企画環境研究室 岡庭 就祐

令和3年と令和4年にトウモロコシを6旬別に分けて播種したところ、播種時期の違いによる生育および収量に特徴がみられた。加えて年次間で収量の優れる播種時期が異なった。

## ◆鹿児島全共で取り組んだ千葉県の早期肥育について

畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 三根 琴美

全共出品牛では24ヵ月の早期肥育でも高品質な牛肉の生産が可能であった。出品候補牛の飼養管理や発育、血液性状等の調査結果とともに、早期肥育技術の課題を情報提供する。

## ◆暑熱対策の違いが乳牛の生産性に及ぼす影響についての現地調査

畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 倉地 充

要望課題で取り組んでいる乳牛の暑熱対策調査において、今夏の現地における暑熱状況や対策効果等について関係機関と連携し調査を行ったので、その内容について紹介する。

## <養豚部門>

### ◆日本型豚舎洗浄ロボット開発に向けた実証実験

畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 井出 深

市販化に向けて開発された日本型豚舎洗浄ロボットは、洗浄効果を落とさず人手による洗浄時間を削減でき、予備洗浄として有効であることが明らかとなった。

### ◆つる植物で仕立てた遮へい壁による畜舎周辺の臭気低減効果の検討

畜産総合研究センター 企画環境研究室 中代 浩之

遮へい壁は臭気や粉塵の拡散防止効果があるが、今回、遮へい壁の壁材につる植物を用いた場合の拡散防止効果について検討を行ったので、その結果を報告する。

### ◆養豚排水におけるBODおよび硝酸性窒素等の簡易測定法の検討

畜産総合研究センター 企画環境研究室 長谷川輝明

ポケット型塩分計を利用することで高濃度域のBODを推定できる可能性がある。また、ポケット型pH/EC計を利用することで硝酸性窒素等を推定可能であった。

## <養鶏部門>

### ◆採卵鶏におけるアニマルウェルフェアに配慮したケージシステム利用の検証

畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 小形次人

赤玉卵鶏を造作アニマルウェルフェア対応ケージで448日齢まで飼育し、産卵成績、卵質成績、鶏の行動、ストレスホルモンなどを調査したので紹介する。

### ◆採卵鶏主要銘柄長期飼育比較調査

畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 能瀬祥吾

8銘柄の採卵鶏について、700日齢までの長期飼育のうち、420日齢までの成績を取りまとめた結果、ほとんどの銘柄鶏において育成期の発育が優れ、成鶏期において高い産卵持続性を示した。

### ◆県内採卵鶏鶏舎における吸気口構造調査

畜産総合研究センター 企画環境研究室 齊藤健一

ウィンドウレス及びセミウィンドウレス鶏舎内の温度や換気量を制御する吸気口部分の構造について、県内8農場の現地調査を実施したのでその概要を報告する。